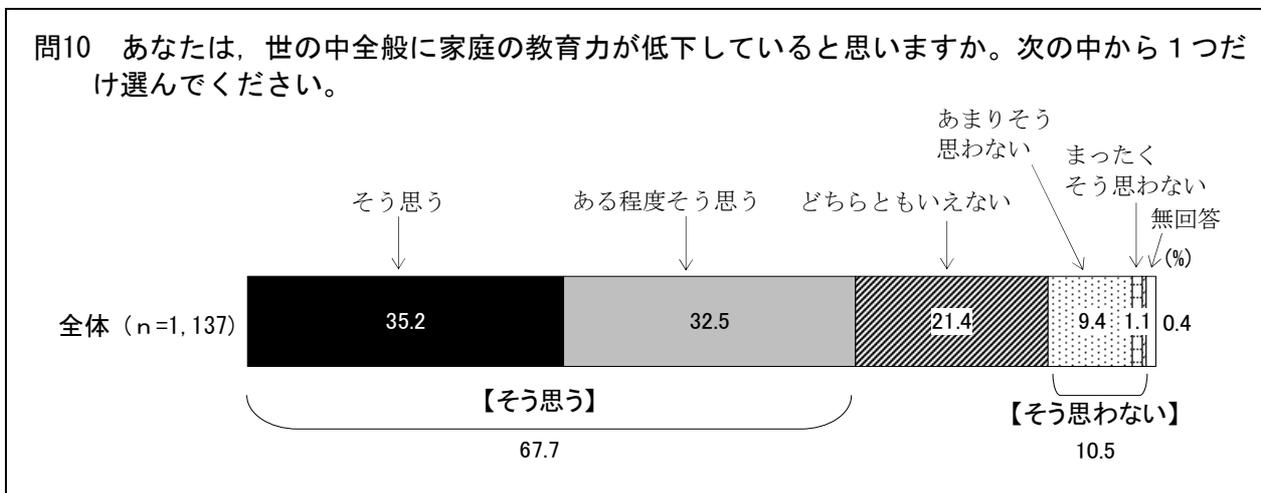


## IV 家庭教育

### 1. 家庭の教育力

(1) 家庭の教育力が低下している実感

—【そう思う】が約7割—



家庭の教育力が低下していると思うかについて、「そう思う」(35.2%)と「ある程度そう思う」(32.5%)を合わせた【そう思う】(67.7%)が約7割である。また、「あまりそう思わない」(9.4%)と「まったくそう思わない」(1.1%)を合わせた【そう思わない】(10.5%)が約1割となっている。

—【そう思う】は男性の40代で7割台半ば—

地域別でみると、【そう思う】は、県央(72.3%)で7割を超えて最も高く、県北(69.4%)と県南(68.2%)で約7割となっている。

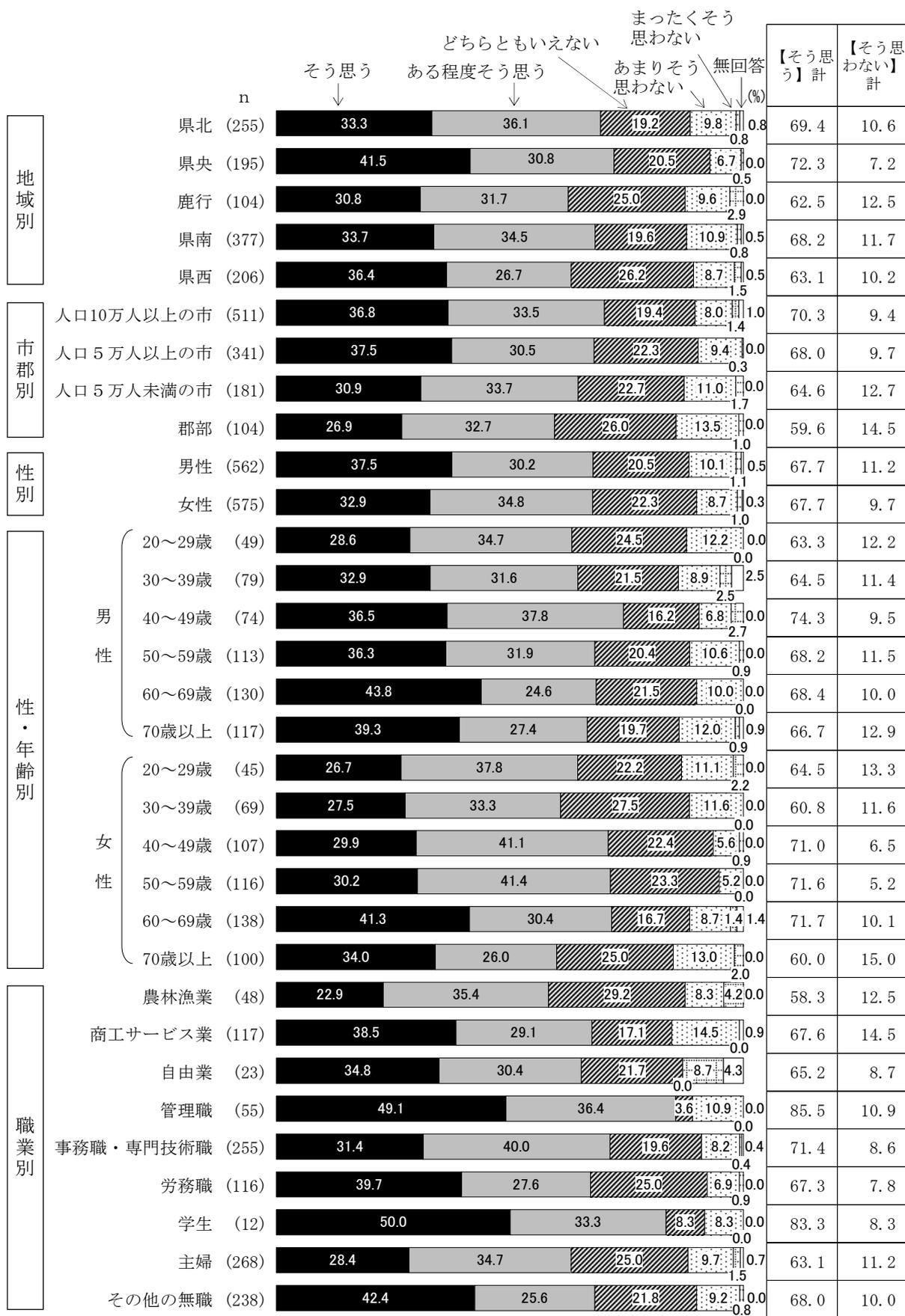
市郡別でみると、【そう思う】は、人口10万人以上の市(70.3%)で約7割と最も高く、人口が少なくなるほど低くなっている。

性別では、特に大きな差はみられない。

性・年齢別でみると、【そう思う】は、男性の40代(74.3%)で7割台半ばと最も高く、女性の40代(71.0%)、50代(71.6%)、60代(71.7%)で7割を超えている。

職業別でみると、【そう思う】は、管理職(85.5%)で8割台半ばと最も高く、事務職・専門技術職(71.4%)で7割を超えている。

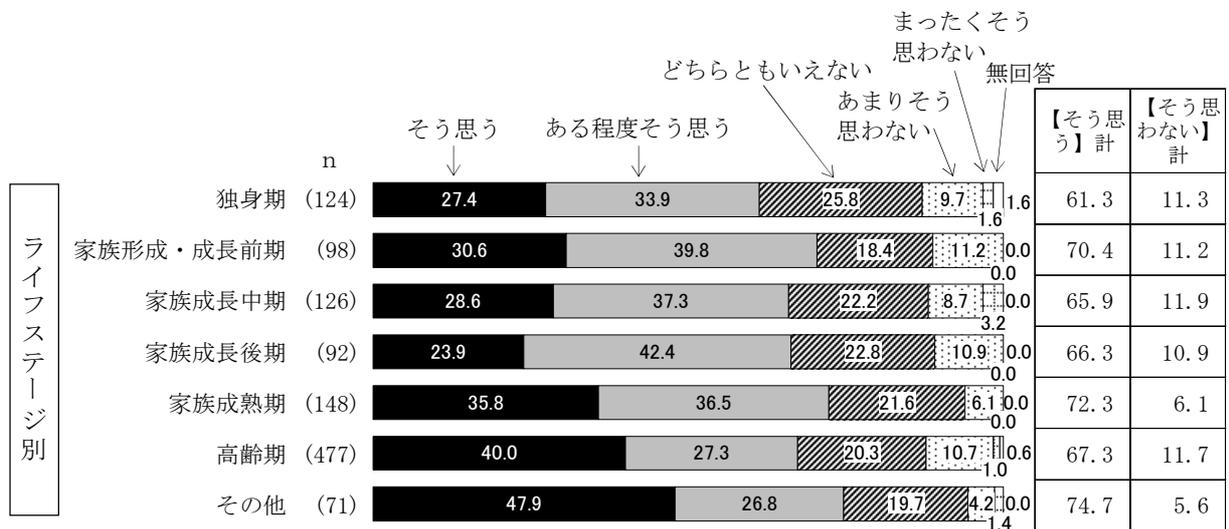
図IV 10-1 家庭の教育力が低下している実感  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別)



(注) 自由業及び学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。

ライフステージ別でみると、【そう思う】は、その他（74.7%）で7割台半ばと最も高く、家族成熟期（72.3%）で7割を超え、家族形成・成長前期（70.4%）と高齢期（67.3%）で約7割となっている。

図IV 10-2 家庭の教育力が低下している実感（ライフステージ別）

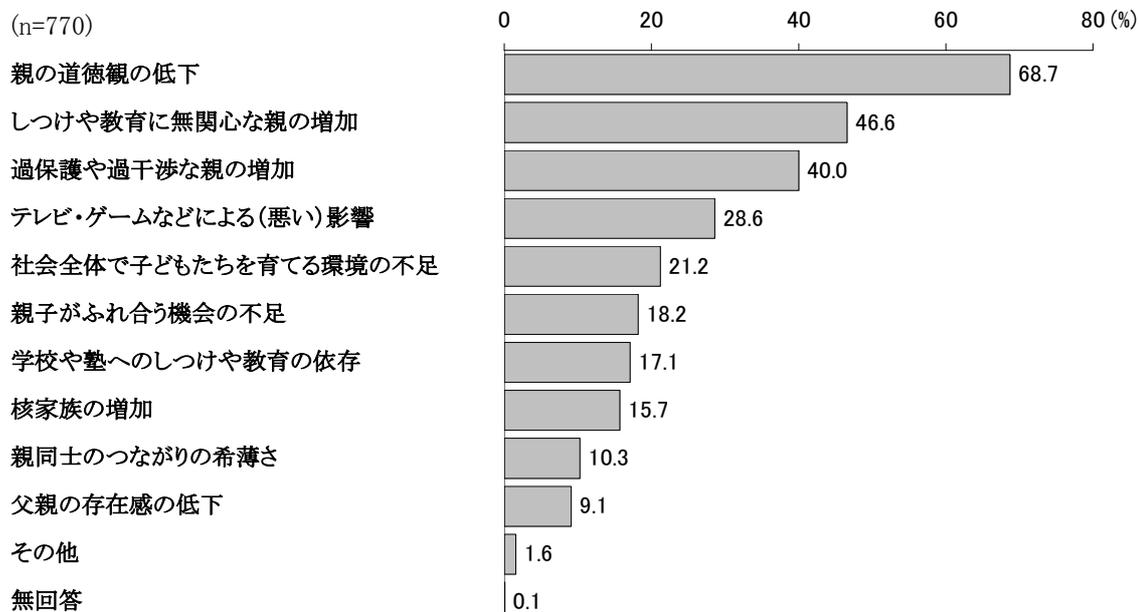


(2) 家庭の教育力が低下していると思う理由

—「親の道徳観の低下」が約7割—

(問10で、「1. そう思う」か「2. ある程度そう思う」と回答した方のみ)

問10-1 あなたが、家庭の教育力が低下している理由として考えられるものは何ですか。次の中から3つまで選んでください。



家庭の教育力が低下している実感で【そう思う】と回答した方に、その理由を聞いたところ、「親の道徳観の低下」(68.7%)が約7割と最も高く、次いで「しつけや教育に無関心な親の増加」(46.6%)が4割台半ば、「過保護や過干渉な親の増加」(40.0%)が4割で続いている。

—「親の道德観の低下」は男性の50代から60代，女性の40代から50代で7割台—

地域別でみると、「親の道德観の低下」は，県央（73.8%）で7割台半ばと最も高くなっている。「しつけや教育に無関心な親の増加」は，県南（51.8%）で5割を超えて最も高く，そのほか，県北（36.7%）以外のすべての地域で4割台後半となっている。また，「過保護や過干渉な親の増加」は，鹿行（46.2%）で4割台半ばと最も高くなっている。

市郡別でみると，「親の道德観の低下」は，人口10万人以上の市（72.4%）で7割を超えて最も高く，人口5万人以上の市（66.8%）と人口5万人未満の市（69.2%）で6割台後半となっているが，郡部（53.2%）は5割台半ばとなっている。「しつけや教育に無関心な親の増加」は人口5万人未満の市（53.0%）で5割台半ばと最も高く，「過保護や過干渉な親の増加」は人口5万人以上の市（35.8%）以外のすべての層で4割台となっている。

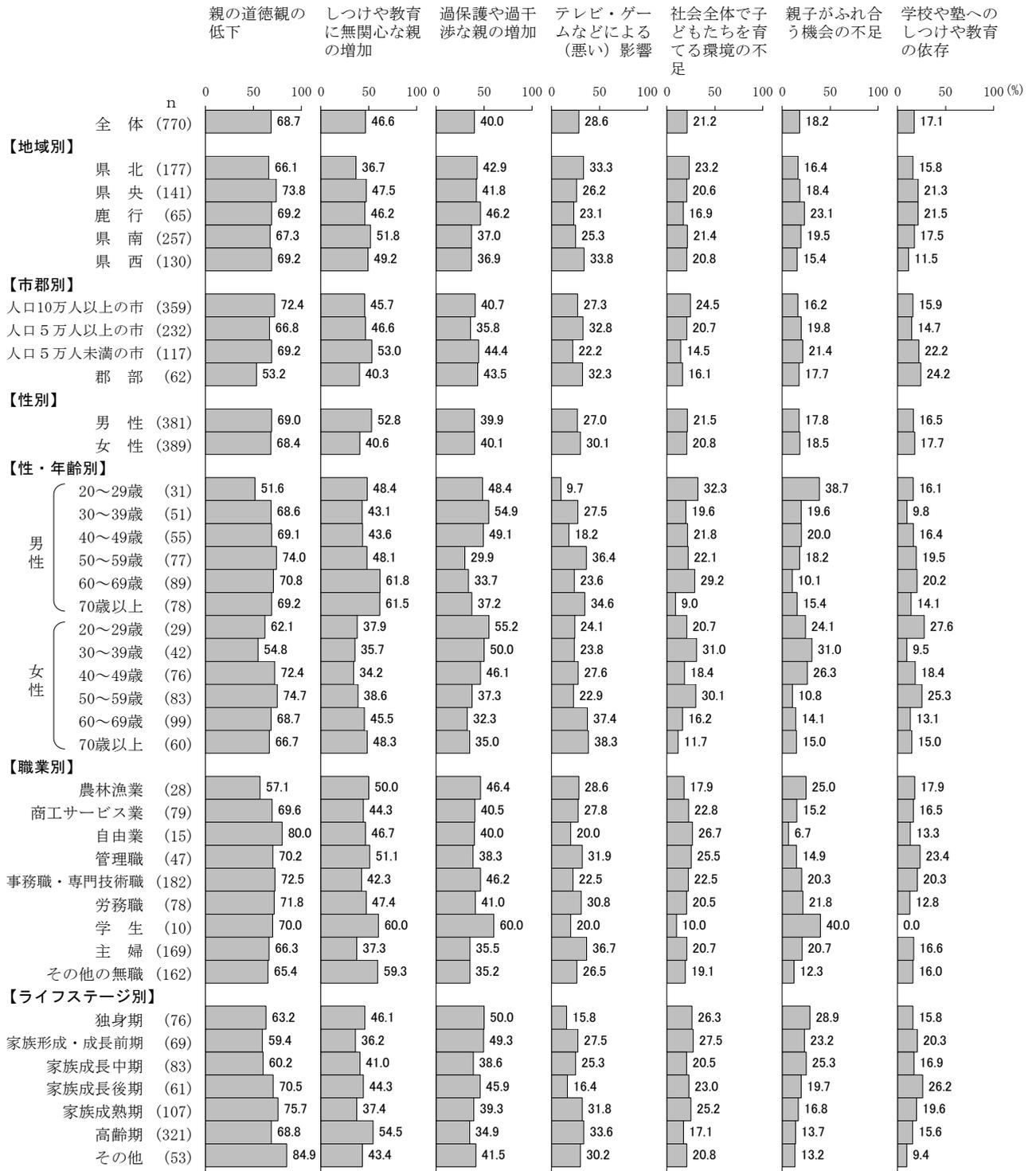
性別でみると，「しつけや教育に無関心な親の増加」は，男性（52.8%）が女性（40.6%）よりも約12ポイント高くなっている。一方，「テレビ・ゲームなどによる（悪い）影響」は，女性（30.1%）が男性（27.0%）よりも約3ポイント高くなっている。

性・年齢別でみると，「親の道德観の低下」は，男性の50代（74.0%）と60代（70.8%），女性の40代（72.4%）と50代（74.7%）で7割台と高くなっている。「しつけや教育に無関心な親の増加」は，男性の60代（61.8%）と70歳以上（61.5%）で6割を超えて高くなっている。また，「過保護や過干渉な親の増加」は，男性の30代（54.9%）と女性の30代（50.0%）で5割台，男性の20代（48.4%）と40代（49.1%），女性の40代（46.1%）で4割台後半となっている。

職業別でみると，「親の道德観の低下」は，管理職（70.2%），事務職・専門技術職（72.5%），労務職（71.8%）で7割台，商工サービス業（69.6%）で約7割となっている。「しつけや教育に無関心な親の増加」は，その他の無職（59.3%）で約6割と最も高くなっている。

ライフステージ別でみると，「親の道德観の低下」は，その他（84.9%）で8割台半ばと最も高く，家族成熟期（75.7%）で7割台半ばとなっている。「しつけや教育に無関心な親の増加」は高齢期（54.5%）で5割台半ばと最も高く，「過保護や過干渉な親の増加」は独身期（50.0%）で5割，家族形成・成長前期（49.3%）で約5割となっている。

図IV 10-1-1 家庭の教育力が低下していると思う理由  
(地域別, 市郡別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)



(注) 女性20~29歳, 農林漁業, 自由業, 学生は回答人数が少ないので分析ではふれていない。